

奈良県立医科大学附属病院感染制御内科通院患者さんへ
「HIV 感染者における 10 年間の推算糸球体濾過量 (eGFR) の変化と慢性腎臓病 (CKD)
予測因子に関する研究」の協力をお願い

この度、健康管理センターと感染症センターで上記研究を実施いたします。
本研究は、公立大学法人奈良県立医科大学医の倫理審査委員会の承認を受け、学長の許可を得ています。

以下に研究概要を説明いたしますので、ご協力をお願い申し上げます。

1. 目的

日本人 HIV 感染者における腎機能の 10 年間の変化を調査し、慢性腎臓病（腎機能が中等度以上低下した状態）の発症予測因子を明らかにする。

3. 研究期間

医の倫理審査委員会承認～2019 年 12 月 31 日

2. 対象

感染制御内科を定期通院し、2008 年・2018 年に腎機能検査等を受けた日本人 HIV 感染者（目標 54 例）ただし 2008 年時の要因項目の情報が欠落している者は対象から除外する。

3. 方法

2008 年と 2018 年の推算糸球体濾過量 (eGFR) を比較し、変化を評価する。

CKD の発症予測の要因として、2008 年時の eGFR、性別、HIV 感染症の病態、抗 HIV 治療の有無、喫煙および飲酒習慣の有無、肥満度、高血圧または糖尿病合併の有無、B 型肝炎ウイルス (HBV) または C 型肝炎ウイルス (HCV) 感染の有無、2008 年の CD4 陽性細胞数・ウイルス量・中性脂肪値・総コレステロール値・血管炎症マーカー（ペントラキシン 3 値）・酸化ストレス・動脈硬化の指標として脈波伝播速度を用いて解析する。

4. 研究の開示

日本感染症学会総会などに研究成果を報告する予定である。

5. 個人情報の扱い

調査を行なう際に新たなデータ収集を行なうことはなく、臨床情報を取り扱う時には匿名化を行ない、個人を認識できない状態にして実施する。

研究終了後 5 年で収集したデータは全て廃棄し、二次利用することもない。

6. 研究機関名

公立大学法人奈良県立医科大学 健康管理センター

7. 研究責任者名

古西 満（病院教授・センター長）

8. 相談窓口

奈良県立医科大学健康管理センター 古西 満（病院教授・センター長）

電話：0744-22-3051 内線：2190、携帯：070-6566-8653 e-mail：mkonishi@naramed-u.ac.jp

9. 利益相反

本研究に関して利益相反関係にある企業などは存在しない。

10. 研究対象者に研究への参加を拒否する権利を与える方法

研究対象に該当する可能性があるが、研究協力ができない場合には、上記の相談窓口ご連絡いただければ、対象から除外する。辞退した場合も診療等で不利益を受けることはない。